

# 知ってもらいたい「ヒヨコ」の話



独立行政法人家畜改良センター  
岡崎牧場長 丹菊 将貴 氏

皆さんは卵の自給率をご存じでしょうか。農林水産省の資料によると国内の卵の消費量の九十六％が国産であり、卵は畜産物の中では自給率が高くなっている。これは、卵が生鮮品であり鮮度が求められることや、殻が割れやすく長距離・長時間の輸送に適さないことが理由とされている。

ちなみに、日本では食用の卵を生産する鶏（採卵鶏）は日本の人口を上回る約一億三千万羽が飼われており、この採卵鶏が日本の卵の生産を支えている。しかし、卵の自給率は高いが、真の意味で国産なのかという点必ずしもそうではない。

その理由の一つが、鶏が食べているエサである。多くの養鶏場で採卵鶏に給与されているのは配合飼料と言われるエサであるが、その原料は海外から輸入されるトウモロコシなどの飼料用の穀物であり、国産の原

## 教育随想



令和6年8月1日

# 8月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想……………	1
独立行政法人家畜改良センター 岡崎牧場長 丹菊 将貴 氏	
この人に聞く……………	2
作曲家 桃井 聖司 氏	
羅 針 盤……………	2
矢作中学校 校長 山内 貴弘	
ふれあい……………	3
矢作西小学校 栄養教諭 三浦 恵奈	
特 集……………	4
こうすればいけるかも！ 子供たちと考える「カーボンニュートラル」	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
未来へと続く階段（昭和50年）	
この本を……………	8

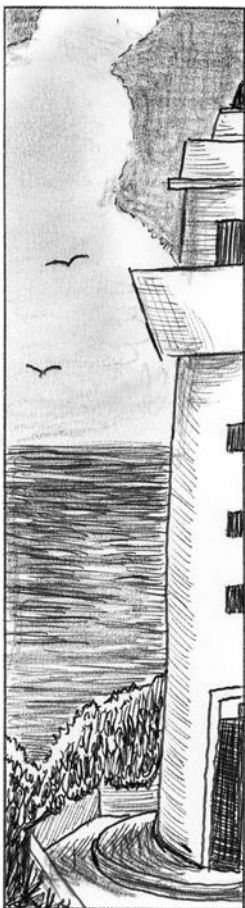
料は十三％にとどまり、九割近くを輸入に依存している。

もう一つの理由は「ヒヨコ」である。鶏となる「ヒヨコ」を海外に依存していることはあまり知られていない。「ヒヨコ」を海外に依存していると言っても我が国に一億羽以上も飼われている採卵鶏となる「ヒヨコ」を海外から運んできているわけではない。採卵鶏となる「ヒヨコ」そのものは日本で生まれているが、その「ヒヨコ」の両親・祖父母の九十七％は海外で育種改良が行われた品種であり、実際には「ヒヨコ」の両親・祖父母が海外から輸入されている。

家畜改良センター岡崎牧場では、真の意味での国産の鶏による卵の生産基盤の確保のため、両親・祖父母が国内で生まれた鶏の育種・改良を行い、日本の気候や風土に合った鶏づくりを進めている。国際情勢の不安定さが増し、食料安全保障が叫ばれる中、国内で食料の生産基盤を持つことの重要性はさらに高まると考えられ、それに応えていくのが我々の使命である。

学校給食の献立に卵が入っていた時には今回の「ヒヨコ」の話を思い出していただくと幸いである。

（たんぎく まさたか）





## 人と人とのつながりを大切に

作曲家 桃井 聖司氏

根石小学校に、優しい曲が流れる。子供たちがその曲を口ずさむ。創立百五十周年の記念に、桃井さんが母校のために作った曲だ。数々のゲーム音楽や映画音楽、舞台音楽を手掛けてきた桃井さんが、岡崎とのつながりを大切にしている思いに迫る。

―作曲家をめざしたきっかけを教えてください―

私が根石小学校に在籍していたときの先生との出会いがきっかけです。小学四年生のとき、自分の気に入ったアニメ主題歌を録音して、その曲を楽譜に起こしピアノアレンジをすることに夢中になりました。あるとき、このことを金管バンド部の顧問の先生に話すと、「金管でアレンジしてみないか」と言われました。それから校歌や、アニメ主題歌をさらに金管でもアレンジして、先生に添削していただくようになりました。そして、中学校に進学してからの

ことです。根石小学校の後輩が、桜まつりのパレードで、小学校在籍時に私がアレンジした曲を演奏してくれたのです。そのとき初めて、自分が作った曲を誰かが演奏をして、大勢の人が聞いてくれるという喜びを味わいました。

あのとき、先生が「やってみないか」と言ってくれたことが大きかったですね。

―音楽を作る上で、大切にしていることは―

依頼をしてくださる方の思いを感じて作曲することです。

初めてゲームの音楽を担当した際、うまくいかないことがありました。自分の中でイメージを膨らませ、作曲しましたが、何度依頼者に提案しても一向に通りません。仕事をやめてしまおうかとも思いました。

あるとき、依頼をしてくださった方から「直接話がしたい」と連絡がありました。作品の話をしたわけではなく、取り留めのない話をしました。しかし、その対話の中で、相手がどんな曲を求めているのかが分かったような気がしました。そこから自分のイメージにとらわれず、対話から受けた印象をもとに作曲し直したら、すぐに通りました。

音楽を作るときは一人です。でも、依頼をしてくれる方がいて、その方とコミュニケーションをとる中で、相手の思いを感じて作曲する。人と人とのつながりを大切にして作っていくものだと考えています。

―岡崎でも活動をされている理由は―  
大学の後輩の一言がきっかけで、岡崎での活動が始まりました。

東京での仕事が軌道に乗り、舞台音楽を手掛けるようになったとき、その後輩が「岡崎で舞台をしたらいじやん」と言ったのです。

そこから岡崎のホールでコンサートを開くようになったり、浄瑠璃姫や徳川家康をテーマにした曲を作るようになりました。

学生時代には、長久手に住んでおり、岡崎に目が向くことはあまりありませんでした。しかし、歳を重ねていくうちに、岡崎の伝統や文化、地元を大切にしている人々の思いを感じるようになりました。これからも、故郷の魅力音楽という形で表現していきたいと強く思っています。

―子供たちへのメッセージをお願いします―

私自身、小学校の先生との出会いが作曲家を志すきっかけでした。また、現在担当している仕事の中には、出会った人たちに触発されて挑戦したのもあります。子供たちには、先生だったり友達だったり、たくさんの人から受ける刺激を大切にして、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。



氏名 もい せいじ  
生年月日 昭和四十二年七月六日  
住所 東京都練馬区



## 指導案から見える事

矢作中学校

校長 山内 貴弘

授業実践の根幹は、つまるところ授業構成と授業運営の二本柱だと思える。指導案なら本時の展開の左側に位置する子供の活動、つまり授業構成（授業をどう組み立てるか）と右側に位置する教師の活動、つまり授業運営（授業をどう運営するか）である。最近の指導案は、シンプルになり、時にデザインのように表現されているが、探究学習の場合、重視する点は二つある。

一つ目は導入と課題を繋ぐ指向段階である。中学校三年生理科「力のはたらき」で、導入の演示実験に生徒が疑問を抱き、学習課題「位置エネルギーと運動エネルギーはどんな関係があるのだろう」に繋いでいく場面。授業者は前時までの学びを丁寧に想起させ、「スピードではなく、エネルギーという視点」を生徒に与





「一年間、ごちそうさまでした」

矢作西小学校

栄養教諭 三浦 恵奈

二期期のある日、Aさんは給食の片付けの時間に配膳室にやってきて、うつむいたまま静かに牛乳を差し出した。受け取った牛乳は、一口、二口飲んだ程度でほとんど残っていた。「残してごめんなさい」。配膳室を後にするとき、Aさんは肩を落としたままぼつりとつぶやいた。

Aさんの様子が気になった私は、給食の時間に教室を訪ねた。配膳された給食を見ると、量は全体的に少なめで、食が細い子なのだと感じた。しばらく見ていても、副菜はなかなか減らず、牛乳を飲むこともなかった。そこで、「野菜と牛乳、どっちなら最後まで食べきれそう」と、問いかけた。すると、「牛乳」と元氣よく返答があった。私は、予想外の返答に驚いた。てっきり、牛乳の方が苦手だと思っていたからである。すると続けてAさんは、「ぼく、牛乳、苦

手じゃないよ。野菜が苦手なの。時間に間に合わなくて、いつも両方残しちゃう」と話してくれた。この言葉を聞いて、私は、「何か一つでも完食できるといいね」と提案した。Aさんは、「牛乳を頑張る」と、答えた。そこで、前向きにチャレンジしようとするAさんに、「牛乳は、食事の途中に少しずつ飲んでみよう」とアドバイスした。

教室を訪ねた日から、昇降口や廊下で会うと「今日の給食は、好きなものが出るよ」「今日は、牛乳頑張るよ」と、Aさんから声をかけてくることが増えた。私は、ますます応援したくなり、再び教室を訪ねた。

給食の様子を見てみると、Aさんは、以前と変わらず一つのものばかりを食べる「ぼっかり食べ」をしていた。以前のアドバイスでは、伝わらなかったのだと感じ、Aさんのクラスで主食、副菜、牛乳などを順番に食べる「三角食べ」の話をした。

「ごはん、おかず、ごはん、おかず、牛乳の順番で食べると、最後にごはんだけ、牛乳だけにならずにバランスよく食べることができるよう」と呼びかけると、Aさんは、「ごはん、…」とつぶやきながら食べ出し、「三角食べ」を意識する様子が見られた。

その日以降、片付けの時間になると、頑張った成果を伝えるかのようにAさんが、牛乳を持って配膳室に

来るようになった。初めて来たときとは違い、その表情は明るかった。

三期期最後の給食の日、朝の昇降口でAさんが、「今日は一年生最後の日だから、先生、教室に見に来てね」と声をかけてきた。給食の時間、廊下を通る私に気付くと牛乳を片手にグッドポーズをするAさんの姿があった。小さくうなずき通り過ぎた。

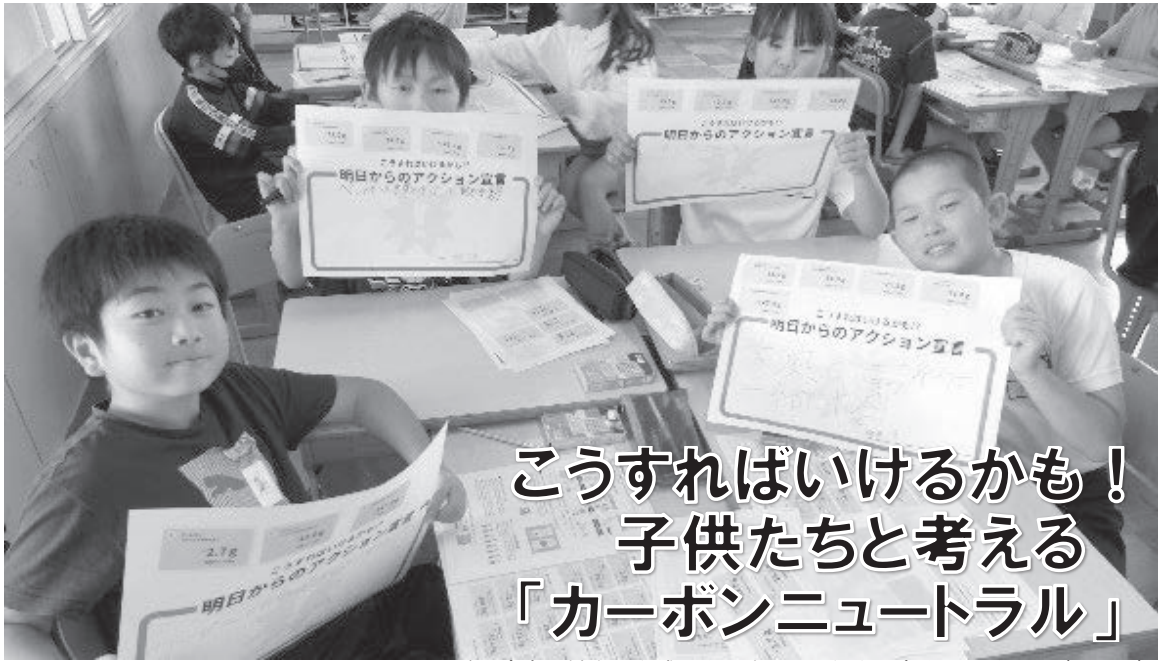
片付けの時間、Aさんは、配膳室にやって来た。飲めたかなと心配しながら表情を伺うと「今日はチャイルド前に牛乳を飲み終わったよ」と笑顔で教えてくれた。「すごいね、すてきな二年生になれるね」とほめると「二年生でも、牛乳を残さず飲むよ」「一年間、ごちそうさまでした」と声を弾ませて答えた。Aさんの笑顔を見て、私は心からうれしくなった。



えることで、多様な追究が絞り込まれていった。指向段階は、予想、(事実の)羅列、例示、試演等がある。今、チーム学習が方法論として導入・活用されている中で、そのフィードを絞り込んだり、追究の方向性をはっきりさせたりするこの指向段階は特に大切な段階であると思う。

二つ目は、子供たちの思考が連続するように仕掛ける教師の運営の在り方である。中学校三年生裁判員制度の学習で、量刑を決める裁判員の感情の揺れに対し、ネガティブな印象を多くの生徒がもった。授業者が提示したのは、実際に裁判員を経験した人の「やってよかった」という具体的な声だった。予想とのギャップに対して、「どうしてかな」とタイミングよく仕掛けることで、追究に拍車がかかり、再度、裁判員制度は必要かという議論に集中していく。このタイミングこそプロの教師の妙である。

授業は未完のプロジェクトと言われている。完成形に行き着くことはないかもしれない。ただ、いつも子供の思考に寄り添った授業者の構成と運営の工夫が指導案に表現されていく営みは、これからも変わらない。シンブルになった指導案にその二点が明示されるとよい。



# こうすればいけるかも！ 子供たちと考える 「カーボンニュートラル」

▲二酸化炭素の排出量を減らす具体的な取組を発表する子供たち（北野小）

二酸化炭素と地球温暖化の関係、地球温暖化が環境や生態系に影響を与えていることは、広く知られている。しかし、私たちは、自分事として関心を寄せているだろうか。平均気温の上昇が二度と一・五度のわずか〇・五度の違いで、海面上昇や干ばつ、洪水を引き起こす極端な気象変化を増加させるとされている。そこで、気温上昇を一・五度に抑えるため、脱炭素社会の実現に向けた世界各国での様々な取組が進んでいる。

岡崎市は、この国際的な動向や国の取組状況を踏まえ、二〇三〇年度までに二酸化炭素の五〇パーセント削減、二〇五〇年度までには、二酸化炭素排出量実質ゼロ（カーボンニュートラル）のゼロカーボンシティを目指すことを二〇二〇年に表明した。

ゼロカーボンシティの実現に向けて、岡崎市ゼロカーボンシティ推進課は、脱炭素化へ「支援」「啓発」「取組」の視点から様々な施策を打ち出している。中でも「啓発」では、子供が環境意識を高めたり、環境問題に関する知識を深めたりするだけでなく、具体的な行動や思考を身に付け、実践していく人の育成を目指し、体験型の環境プログラムや出前授業を提供している。

私たちは、自身が脱炭素化の取組を行うだけでなく、市の取組を踏まえ、「カーボンニュートラル」を実践していく子供たちの育成を目指し、環境教育をすすめたい。

## 岡崎市のゼロカーボン施策と脱炭素まちづくり

【株式会社岡崎さくら電力】  
「中央クリーンセンター」および「ハ帖クリーンセンター」で発電される電気を中心に岡崎市の公共施設に供給している。エネルギーの地産地消。



【燃料電池自動車、電気自動車の利用】  
公用車に、地球環境にやさしい燃料電池自動車・電気自動車を利用。



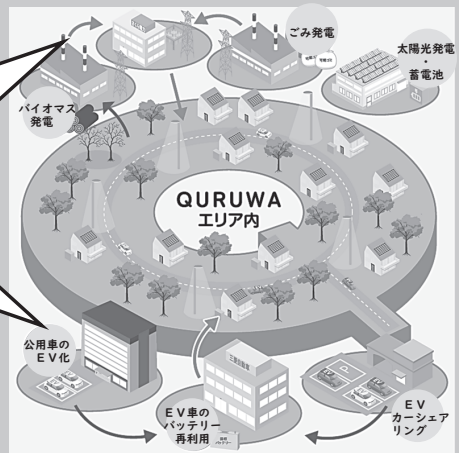
【ハローサイクリング】  
乗りたいところで乗って降りたいところで降りる自転車をシェアする活動。



【市職員出前講座】  
小中学校、市民団体等を対象に、環境知識を高めるための環境学習。体験型のプログラム、出前授業。

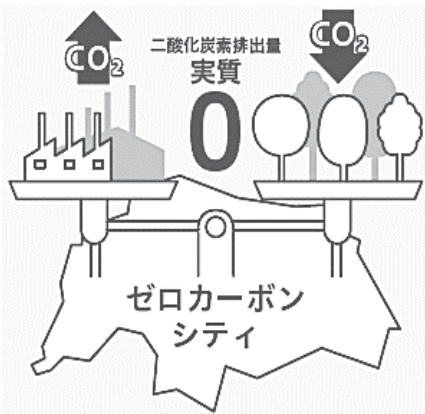


【おかざきエコプロジェクト】  
保育園や幼稚園、イベント会場等で子供たちの環境意識を高める環境学習。



▲脱炭素先行地域 QURUWA 戦略の構想図





▲ゼロカーボンシティイメージ図

**【カーボンニュートラル】とは**

二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成し、温室効果ガスの発生が実質ゼロになることをいう。

**【ゼロカーボンシティ】とは**

2050年に二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを旨とする首長自らまたは、地方自治体として公表された地方自治体のことを指す。

**《カーボンニュートラルを実践する子供の育成を目指す取組》**

**「体験型の環境プログラム 身近な飲み水からCO<sub>2</sub>排出量を考える」(北野小)**



▲自分ができる行動を考える児童



▲飲み水のCO<sub>2</sub>排出量を考える児童



▲「岡崎まち育てセンター・りた」職員による出前授業

**「持続可能な社会 岡崎市の目指す姿を考える」(新香山中)**



▲ライトダウンの取組を地域に呼びかけるためのポスターを提案する生徒

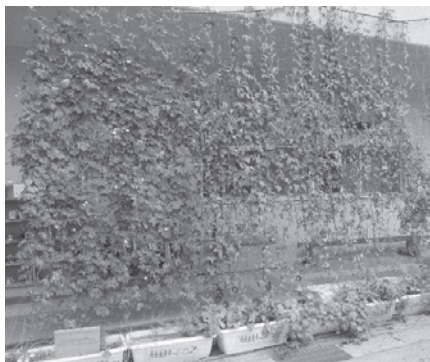


▲岡崎市の施策について話し合う生徒



▲ゼロカーボンシティ推進課職員とリモートで対話する生徒

**「岡崎市地球温暖化防止隊とグリーンカーテンづくり」(城北保育園)**



▲アサガオ、ゴーヤ、フウセンカヅラのグリーンカーテン



▲エコマンダールと一緒にゴーヤの種まきをする園児



●ハートピアだより

岡崎市フリースクール

「ハートピア岡崎」

「ハートピア岡崎」では、長期欠席もしくはその傾向にある市内小中学生及び保護者に対しての支援をしています。本施設における子供の様子や支援内容について紹介します。

一 ハートピア岡崎での支援

あたたかい雰囲気の中で、自己肯定感を育むよう支援します。

自分に自信をもち、次へ行動するエネルギーを蓄えられるよう支援します。

さまざまな活動を通して、人とのかわり方、自己決定や自己表現する力を、身に付けられるよう支援します。

多様性を受け入れ、不安を抱える児童生徒の居場所となることを目指しています。

二 ハートピアの一日

《時刻》活動内容

《9:45》通所

\*小学生は保護者の送迎

《10:00》清掃・休憩

《10:20》ほれほれタイム

・学習(各自で用意した内容)  
・学校のリモート授業  
・読書・塗り絵  
・創作活動(折り紙・手芸他)

《12:00》昼食・休憩

《13:00》ぼあぼあタイム

・卓球・テニス・カードゲーム  
・モルック 等・ボードゲーム

《14:45》片付け・帰宅

\*自分の状態に合わせて参加します。



《14:45》片付け・帰宅

三 ハートピアの通所例

基本は、午前10時から午後

三時までの終日利用です。

\*曜日を決めての利用や午前のみ、午後のみ利用など、

その他の利用の仕方についても相談できます。

四 ハートピア利用者の声

○児童生徒

・最初は緊張したけど、ゲームやスポーツをしたのがとても楽しかった。

・先生(職員)が話しやすかった。

・自分のことが否定されなかつたから気楽だった。

・ハートピアでは、うまくいかなかったら「惜しい。」とか、「こうするといいな。」と声をかけてもらえたので、楽しく活動することができた。

○保護者

・学校に行かなくても、平日に安心して通える場所があり、親子とも心強かった。

・ずっと家で不規則に過ごすことなく、一日のリズムができたのでとても助かった。

・午後のぼあぼあタイムで職員や他の子とかかわりを持てたので、孤立することなくとても助かった。

・送迎が難しい時に、大好きなハートピアには通いたいという思いから、自分の力で考え、行動し、一人でハートピアに行くことができるようになった。それは娘の自立に繋がったと思う。

ハートピアの存在が、長期

欠席児童生徒や保護者、学校

の先生方の一助になれば幸いです。

●児童手当制度が変わります

令和六年十月より、児童手当の一部改正に伴い、児童手当の支給期間が中学生までから高校生等(十八歳に達する年度末)までに延長され、第三子以降の手当額が増額されます。また、支払期月が年三回から年六回となり、所得制限が撤廃されます。制度改正の詳細や事務手続き等については、各所属で確認してください。

●表彰

◆第78回愛知県中学校総合体育大会

○男子高飛込の部

2位 六ツ美中 二階堂 律

○男子飛板飛込の部

2位 六ツ美中 二階堂 律

◆第52回愛知県中学生ソフトテニス選手権大会

○女子の部

3位 矢作中 平岩 千裕

◆愛知県アーチエリー協会の水無月杯

○リカーブ部門18M

優勝 東海中 河原 未琴

2位 葵中 杉浦 彩輝

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

第68回岡崎市中学校総合体育大会

団体結果

種 目	性	優 勝	第2位	第3位	種 目	性	優 勝	第2位	第3位		
陸 上 競 技	男子	六美北	竜海	南	ハンドボール (女子はオープン競技)	男子	竜南	葵	美川		
	女子	矢作北	新香山	六美北		女子	高浜	美川			
バスケットボール	男子	翔南	甲山	葵	六美北	軟式野球	男子(女子)	矢作	新香山	竜海	矢作北
	女子	翔南	竜海	葵	北	ソフトボール	女子	矢作北	矢作	城北	
バレーボール	男子	矢作	六ツ美	矢作北	新香山	柔 道	男子	矢作	矢作北	甲山	
	女子	美川	翔南	東海	岩津		女子	矢作	甲山	矢作北	
ソフトテニス	男子	矢作	城北	矢作北	東海	サ ッ カ ー	男子(女子)	矢作北	福岡	竜海	六美北
	女子	矢作	甲山	葵	六美北	弓 道	男子	幸田A	幸田北A	幸田北C	
卓 球	男子	城北	矢作北	竜海	矢作	(オープン競技)	女子	幸田北A	幸田南A	幸田北B	
	女子	新香山	矢作	北	甲山	水 泳	男子	矢作	矢作北	翔南	
剣 道	男子	矢作	額田	甲山	附属	女子	竜海	甲山	矢作		
	女子	矢作	翔南	竜海	六美北						

陸上競技

新…大会新記録

性	種 目	氏 名	校名	記 録
男 子	100m	小島 昊大	東海	11"21
	200m	山田 翔大	南	23"40
	400m	安井 遥人	矢作北	54"28
	800m	太田 至	六美北	2'07"72
	2年1500m	坂井 俊太	福岡	4'20"85
	3年1500m	判治 直哉	竜海	4'18"73
	3000m	秋田 順哉	北	9'13"50
	110mH	和知 志侷	美川	14"96
	4×100mR	有川・深川 佐久間・安井	矢作北	44"59
	走高跳	中田 洸七	六美北	1m70
	棒高跳	伊藤 樹	南	2m80
	走幅跳	近藤 そら	新香山	5m66
	砲丸投	濱田 明良	六美北	9m74
	女 子	100m	原 芽咲	新香山
200m		福田 紗香	矢作北	27"33
800m		市川 紗帆	六美北	2'21"18
1500m		本田 結彩	新香山	新 4'47"37
3000m		中根 希翠	美川	11'03"48
100mH		田島 彩奈	矢作北	15"72
4×100mR		谷名・栗山 福田・田島	矢作北	50"85
走高跳		志村 彩	六美北	1m48
走幅跳		谷名 紗衣	矢作北	4m58
砲丸投		テヌワラ貴縁良	六美北	10m20

水泳競技

新…大会新記録

種 目	男 子			女 子		
	氏 名	校名	記 録	氏 名	校名	記 録
50m自由形	杉本 直樹	翔南	26"16	高木 碧琉	竜海	30"40
100m自由形	荻野 暖万	甲山	59"96	種池 祐月	六美北	1'02"20
200m自由形	船越 健	竜南	新 2'02"18	片山 灯夏	北	2'15"75
50m平泳ぎ	杉山 昊徽	竜海	33"93	内山 結陽	六美北	37"42
100m平泳ぎ	鈴掛 雄大	葵	1'12"50	長岡 樹里	矢作	1'25"14
50mバタフライ	本多 雄成	城北	29"22	柴田 奈那	甲山	31"47
100mバタフライ	石川 煌起	矢作北	1'03"24	岩崎清緒良	葵	1'08"27
50m背泳ぎ	木村 珀斗	福岡	31"21	高野 紫帆	竜海	34"78
100m背泳ぎ	吉岡 虎徹	矢作	1'07"53	鈴木 里桜	南	1'10"19
200m個人メドレー	大竹 暁生	北	2'22"56	鈴木 彩心	甲山	2'39"79
4×100mR	古茂田・本郷 石川・川原井	矢作北	4'07"65	田村・池野 齊藤・長岡	矢作	4'33"62
4×100mメドレーR	川原井・本郷 石川・古茂田	矢作北	4'32"47	高野・落合 宇賀神・高木	竜海	5'08"34

柔 道

男 子			女 子		
階級	氏 名	校名	階級	氏 名	校名
軽量級	小笠原 昊	矢作北	軽量級	俊 沙弥香	矢作
軽中量級	岩月 颯真	矢作北	軽中量級	白井 杏奈	矢作
中量級	竹本 杏慈	常磐	中量級	松本 菜奈	甲山
重量級	郷 秉昀	附属			

弓 道

	氏 名	校名
男 子	判治 瑛太	幸田A
女 子	杉浦 凜音	幸田北A





・カ  
ツ  
ト  
  
三  
島  
小  
山  
本  
和  
泉

# 未来へと続く階段 (昭和50年)

写真提供：常磐小学校

青木川の清流と仁王門を望む高台に完成した通称「ドレミファ階段」と岩組階段は、幅八メートル、六十七段である。校地の下には、大きな自然石が並ぶ。常磐小学校は、昭和五十一年に現在の地へ移転した。「山籠校舎」の頃には、伊勢湾台風や集中豪雨による山崩れ、土砂の整備に悩まされた。そこで、新校地は、固い岩盤を有する高台が選ばれた。容易ではない新校地の整備は、学区民の献身的な協力によって成し遂げられた。学校の環境整備、学習支援など、地域の方の協力によって学校教育は支えられている。この地で子供を大切に育てたいという思いに込める教育活動を進めたい。



年ごとに暑くなる夏。子供たちが住む未来の地球は、どうなってしまうのだろうか。心配せずにはいられない。カーボンニュートラルを実現することで、地球温暖化を食い止めることができる。ならば、小さなことから始めよう。そして、子供たちに伝えよう。一歩の積み重ねが未来を創るということを。

## どホ

## 葉目ツ



▲夏、力強く実るオクラ (矢作北中)

母校に響く桃井さんの曲を、根石小の子供たちが笑顔で口ずさむ。それがまた、桃井さんの笑顔を生み、新たな曲を作る活力となる。社会の第一線で活躍される方の曲作りのきっかけが、小学校の先生との出会いだったという。教職という仕事のやりがいをもたらすため感じる。子供たちの挑戦を支える教師でありたい。

机を整えながら教室を見渡す。夏休みの真っ只中、空の教室に蝉の鳴き声が鳴り響く。一学期、この教室が子供たちの声で満ちていた様子を思い出す。彼らは、今ごろどんな冒険をし、どんな発見をしているだろうか。新学期、話を聞くのが楽しみだ。その日を心待ちに、しっかりと準備を整えたいと思う。



**\*どう生きるかつらかったときの話をしよう**  
野口 聡一  
アスコム 1,400円

**心に残った一文**  
自分の命には無条件に価値がある。

超難関の採用選考を通過し、宇宙飛行士の夢を実現させた著者でさえ、後悔なく生きるのは、宇宙へ行くよりも困難だと言う。それは、他者の評価や押し付けられた価値観に縛られた経験があり、苦しんだからである。他者と比べ、自分を責めてしまうのは、大人も子供も同じだ。命の気配なき漆黒の宇宙で著者が見た地球は、確かに生きていた。だからこそ、自分らしく生きるため、自身の価値は決して他者に決めさせない、アイデンティティを自ら築くべきだという結論に至る。カウンセリングマインドにあふれる言葉の力が心に響く。私を救う珠玉の一冊。

- \*失敗する自由が超越を生む 真山 仁 小学館新書 980円
  - \*知的障害と発達障害の子どもたち 本多 秀夫 SB新書 990円
  - \*源氏物語に学ぶ美しい日本語 齋藤 孝 ビジネス社 1,500円
- 下山小学校 鈴木紀子